

ちょぼら

みんなで楽しく気軽にちょっとずつのボランティア

vol.66

URL <http://www.tachi-shakyo.or.jp>



12月26日(金)本郷ふれあいセンターで開催された「思いやり卓球」に大刀洗中学校卓球部がボランティアで参加しました。思いやり卓球の参加者からは「楽しかった〜」「上手〜」との声、卓球部のメンバーからも「ふだんの部活動よりむずかしかった」「また来たい」と声があり、良い交流になりました。

01-得意なことを誰かと一緒に
大刀洗中学校卓球部

02-ほっこり井戸端サロン報告
のら猫に困っていませんか?
~のら猫対策あります~

03-ボランティア入門講座報告
「能登半島の災害から知る
私たちにできること」

04-・初心者向け朗読ボランティア研修会報告
・ふくおか“きずな”フェスティバル報告
・中学校美術部からの挑戦状

ボラ連だより



ボランティア連絡協議会の

ほっこい

誰でも・気軽に

井戸端サロン

報告

1/25(土)

テーマ：のら猫に困っていませんか？
～のら猫対策あります～

講師：地域猫サポート大刀洗「つなぐ」



松田 真由美さん



立花 杏子さん

今回はのら猫に関するボランティア活動をしている方々からお話をお聞きしました。

大刀洗町にはのら猫問題で困っている方がたくさんいます。地域猫サポート大刀洗「つなぐ」では繁殖力の強い猫を増やさないために1代で終わらせるための不妊去勢手術や猫の譲渡会等、ボランティアとして活動しています。

サロンに参加された方を含め、地域でのら猫の糞尿被害に困っている人は多く、私たちの身近な問題であることがわかりました。



ご相談される場合はこちらから



ボランティア入門講座 2/15 報告

「能登半島の災害から知る私たちにできること」

講師 特定非営利活動法人 いいがた災害ボランティアネットワーク
理事長 李 仁鉄 氏



令和6年元旦に発生した地震、そして9月の豪雨災害。能登の現状を知ることを入り口に災害ボランティアについて学びました。

以下に李仁鉄さんのお話をご紹介します。

被災した人からの声「すぐそばに人がいてくれる」ということ

被災した方々からは、「助けて」の声に応えてくれたボランティアに対して「ボランティアに勇気づけられた」という言葉が聞かれたそうです。自衛隊やNPO等の支援を受け一方で、被災した人にとって、「すぐそばに人がいてくれる」という存在そのものが心強かったということです。また活動に入ったボランティアからも、そんな被災者からの「ありがとう」等、「もらったものの方が多かった」という声が多く聞かれたとのことでした。

参加者の声「普段の活動やつながりが災害時に活かされる」

災害ボランティア＝救助・重機を使った支援や力仕事と思っていましたが、李さんのお話を聞いて、被災した人にとって「ほしい支援」とは・・・？心の支援が大事ということを教えてくださいました。例えば、コーヒーをいれたり、子どもたちに読み聞かせをしたり、普段自分たちがやっている得意なことが災害時に役立つこと、また「支援が必要な人に情報を伝える・困っていることを代弁する」など、普段のつながりが災害時に役立つことがわかりました。普段の地域のつながりこそが災害時は大事だと感じました。

参加者の声



Mさん

糞尿被害、餌やり問題は、いきなり「ダメ」は言えないと思う



Yさん

この活動をボランティアでやっているのはすごいと思った。
もっとみなさんに知ってもらいたいと思う



Tさん

「個人の困りごと」ではなく、隣組や区の話題にして地域の
みんなで話し合いたいです



Iさん

現在 4 匹の猫を飼っていますが、少し前からうちに来ている子
猫のことで相談をしたいと思って参加しました

(後日) Iさんに捕獲資材を貸し出していますが、タイミングを
見て不妊去勢手術をし、その後のことをご家族で飼い方を話し
合うようアドバイスしています

エサを
あげないで!



地域猫サポート太刀洗「つなぐ」さんより

人と猫が共生できる地域づくり

困っている人にも可愛がってくれる人にも知ってほしい

私たちは太刀洗町を中心に近隣地区で、猫による糞尿被害や環境被害で困っている方、猫好きで可愛が
っているけど困っている方などへ、問題解決へ向けて関係機関と連携し助言や支援を行っております。

猫は繁殖力の強い動物で生後5ヶ月頃から子どもを産めるようになり、1回の出産で2～6匹産み、年
に2～4回出産します。そのため、飼い猫も・飼い
主のいない猫も不妊去勢手術の推進をしています。

飼い猫に関しては、適正飼育のアドバイス、保護
をした猫を新しい飼い主さんへつなぐ譲渡会の開催
などを行っています。

猫による問題は地域と人との問題です。地域の皆
さんと共に学び・協力し「人と猫が共生できる地域
づくり」を目指したいと願っています。

※桜の花びらのように耳をカットされている
猫「桜猫」は不妊去勢手術を受けた猫です



重要! メス猫は生後5ヶ月から出産します

1頭のメス猫が妊娠すると...

注意 1年に2～4回出産します



1年後には **20** 頭以上



2年後には **80** 頭以上



3年後には **2,000** 頭以上!!!!



こうなってしまうのは手の施しようがありません。人間が責任を持って管理する必要があります

報告

2/22(土)

初心者向け朗読 ボランティア研修会

ナレーションサークル風代表 福村 千代美

今年度は、4年ぶりに元 NHK アナウンサー原田徹氏を講師にお招きして開催しました。当日は総勢 25 名ほどの参加者が原田さんのトークに熱心に耳を傾けました。72 歳の原田さんの若々しさに、皆さん驚きの表情でした。

「腹式呼吸は若さの秘訣、まず、最初に口から息を吐ききって、お腹に空気を入れるように意識して、鼻で息を入れる」「喉や声帯はすべて筋肉でできているので、筋肉は鍛えると衰えることはない」「毎日 10 分の発声練習や早口言葉の練習で【集中力の向上・老化防止・顔痩せ効果】が期待できる」「健康維持のためにも声を出す朗読は最適」など、継続することの重要性を話されました。

参加した皆さんの口角も上がりっぱなしの笑いの絶えない研修会でした。



報告

2/16(日)

多くの学びを得た 「ふくおか“きずな”フェスティバル」

スマイル 宮崎 誠

「ふくしと教育の実践研究所 SOLA」の新崎国広氏の基調講演では、**ふ**だんの**く**らしの**し**あわせを合い言葉に、ボランティアは笑顔づくり、目配り・気配り・心配りができて他人の困りごとを放っておけない人と話されました。ボランティアの役割は、いろんな人と手をつないで、誰もが人間らしく豊かに暮らせる社会を目指し「自分にできること」を考え、主体的・積極的に行動することです。

『真の青春とは若き肉体の中にあるのではなく、若き精神の中にこそある』講師が朗読されたサムエル・ウルマンの詩「青春」の一説が私の心を打ちました。

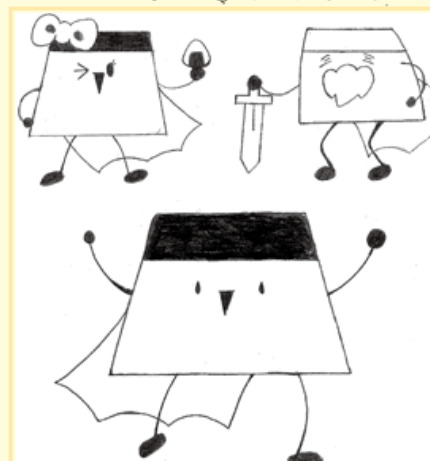
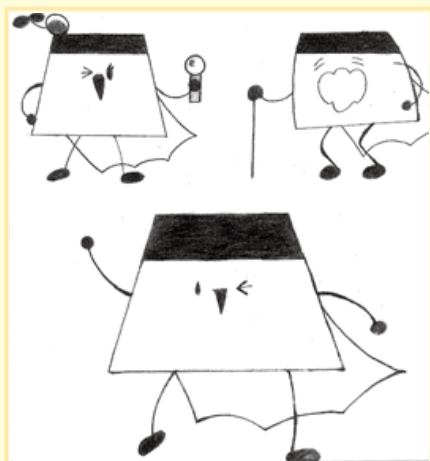


中学校美術部からの挑戦状

〈得意なことを活かして〉

中学校美術部の部員さんが“まちがいさがし”のイラストを作ってくれました!

9つまちがいがあるよ!!



編集後記

「暑さ寒さも彼岸まで」と言われますが、今年の春のお彼岸は、3月20日を中日に前後3日間。地球が365日と6時間で太陽を回っているため、うるう年を含めた3年間は3月20日で、残り1年は21日が春分の日です。寒波襲来で凍りついた日本列島にも春の訪れが間近ですね!



スマイル



代表 福村 宮 生
福村 千代美
宮崎 誠

発行日：2025年3月14日